

あゝの頃

— 写真で語る
おけと —

郷土資料から置戸の歴史や人々の生活を語る写真を紹介していきます。



置戸町における玉ネギ栽培の歴史は比較的浅く、昭和30年代に入ってから徐々に広がっていきました。当初は作り方もわからず、北見の農家から学び、自分なりに研究しながら栽培しました。当時の玉ネギ栽培は、安定的に収益を見込める作物ではなく、儲かるときもあれば、大赤字のときもありました。さらに、規格外品は自分で販売しなくてはならず、トラックに積み、置戸、釧路、遠軽、紋別などの各地の市場をまわり引き取ってもらったそうです。

昭和40年代に入ると、豊住地区の農協倉庫新築や品種改良も進み、連作障害も少ないといわれる玉ネギは、豊住川南地区の主要な作物のひとつとなりました。毎年、こいのぼりが青空に泳ぐ頃、すらりとした葉の玉ネギが大地に整列する様をみる事ができます。今回の写真は、昭和57年5月に撮影された玉ネギの定植作業風景です。農作業も機械化が進み、定植作業も当時とは様変わりしました。

(参考：語りつくす歴史と証言)

喜びと悲しみ(敬称略)

■ご出生おめでとうございます

○溝手 靖寛 男児 依颯(いばき) 心和 4/27
彩香

■お悔やみ申し上げます

○大嶋 郁朗 83歳 心和 4/7
○村松 ツエ子 97歳 常楽園 4/9

○守矢 くにを 99歳 緑清園 4/10
○高橋 喜代子 77歳 若木 4/11
○柴田 ミサ子 81歳 新光 4/13
○片岡 敏子 93歳 本町 4/29
○遠藤 正市 87歳 協生 5/1

編集後記

☆10連休、天候にも恵まれ、良い休日を過ごすことができた方も多いのでは。5月1日から令和元年。新しい時代を迎え、爽やかな気持ちで仕事に励みます。6、7月は新緑と祭りの季節。町内各地の写真撮影をしますので、みなさんよろしくお願ひします。㊦

人の動き

●世帯数 1,448世帯(+17世帯)

●人 □ 2,883人(+11人)

●男1,340人(+11人) 女1,543人(±0人)

平成31年4月30日現在()内は3月末比

■今月号の表紙：5月3日、「第11回木あそび展」(どま工房)に町内外から多くの親子連れや木工ファンが訪れ、スプーンや皿、箸、笛などのモノづくりを楽しみました。